

ABC★ジャンプ!

高岡市立横田小学校
第4学年だより10月号
令和5年10月3日

「学習発表会の劇は、みんなに任せたよ。」と、劇の練習をスタートさせました。4年生が考えた目標は、「笑いと感動を伝え、僕らの成長した姿を家族に見せよう」です。子供たちは、自分たちで台本を考えたり、衣装を準備したり、登場曲を選んだりしながら練習を始めました。「〇〇さん、この動きが、嫌だと言ってふざけるから、練習できん。」「そんなズボン、恰好が悪い。」「先生、おれらの曲だから、勝手に決めんといて」などと、1つのことをグループの友達と折り合いをつけながら進めることに四苦八苦する子供たちでした。でも、みんなで決めた目標に向かって取り組む中で、素敵な姿を見せてくれました。動きに悩んでいる友達にさり気なくアドバイスする姿。大きな声を出せない友達をみんなでサポートする姿。劇の準備や片付けを自分たちで声を掛け合っている姿。練習後に出たごみを体育館に残って拾っている姿。見てくださった方にお礼の挨拶をする姿。「行事は、子供たちを成長させる」といいますが、子供たちを見ていると実感します。4年生がつくり上げた劇「本当の宝ものは？」をぜひ、ご覧ください。10月7日(土)、子供たちとお待ちしています。

<魚津水族館の不破光大さん(学芸員)さんとの出会い>

9月4日(月)に魚津水族館の不破光大さんから、横田小学校のビオトープの生き物と植物についてお聞きしました。初めはビオトープに入ることをためらっていた子供もいましたが、たもを持ち、泥だらけになってビオトープの中の生き物を観察したり採集したりしました。不破さんが、楽しそうに生き物の説明をされると、子供たちは、食い入るように、小さな生き物たちに目を向けていました。五感を通して生き物に触れることで、横田小学校のビオトープの面白さ、自然の不思議に少しずつ気付き始めています。教室に戻ってきた子供の中には、学習専用端末を活用して、関心をもったカエルの鳴き声を調べる子供もみられました。

<子供の日記より>

- ・池の中は、何かぐにゅぐにゅして、温泉みたいで気持ちよかったです。
- ・分からない生き物のことを聞いたら、すぐに教えてくれる不破さんは、素敵だと思いました。ぼくもいろんな生き物のことを知ろうと思いました。
- ・ドジョウがへびみたいにうじょうじょいました。ビオトープは、カエルやドジョウの住み家だと思いました。時間があったら、水族館に行ってビオトープについて不破さんに聞いたり調べたりしたいです。また、新しい発見や楽しさを味わいたいです。
- ・いつも見に行っていたビオトープだけど、まだまだ知らないことがあると思いました。
- ・トノサマガエルは、富山県では絶滅危惧種だと知って、びっくりしました。横田小学校のビオトープはすごい!
- ・ぼくは、カエルやオタマジャクシに触れませんでした。不破さんに、「将来、お父さんになったときに、子供の前で触れなくてもいいの?」と言われて、勇気をもって挑戦してみました。
- ・カエルに触れなかったけれど、不破さんが「やわらかいよ」と言っていたので、触ってみると柔らかくてぷにゅぷにゅしてました。もっと、かえるについて知りたいです。



